

認 定 書

国 住 参 建 第 537 号
令和 5 年 7 月 21 日

株式会社日本アクア
代表取締役 中村 文隆 様

国土交通大臣 齊藤 鉄夫



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第八号並びに同法施行令第 108 条第一号及び第二号（外壁（耐力壁）：各 30 分間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PC030BE-2439-2(3)
2. 認定をした構造方法等の名称
吹付け硬質ウレタンフォーム充てん／軽量セメントモルタル塗・下張材表張
／せっこうボード裏張／木製軸組造外壁
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

別 添

1. 構造名：
吹付け硬質ウレタンフォーム充てん／軽量セメントモルタル塗・下張材表張／せっこうボード裏張／
木製軸組造外壁

2. 仕様の寸法：
仕様の寸法を表1に示す。

表1 仕様の寸法

項 目		仕 様
壁の高さ		構造計算等により構造安全性が確かめられた寸法
壁厚	真壁	101.8mm以上
	大壁	131.8mm以上
柱、間柱間隔		500mm以下
壁の構造		真壁又は大壁

3. 仕様の主構成材料：

仕様の主構成材料を表2に示す。

表2 仕様の主構成材料

項 目	仕 様
柱 (荷重支持部材)	材料：日本農林規格に適合する構造用製材、構造用集成材又は構造用単板積層材(加工品を含む) 寸法：105×105mm以上 欠き込み：あり又はなし(大壁の場合はなし) 欠き込み深さ：10mm以下 欠き込み幅：10～15.5mm
間柱	材料：日本農林規格に適合する構造用製材、構造用集成材又は構造用単板積層材(加工品を含む) 寸法：真壁の場合 27×75mm以上 大壁の場合 27×105mm以上
断熱材	材料：①又は② ①吹付け硬質ウレタンフォーム 組成(質量%)： ポリイソシアネート ポリエーテルポリオール 難燃剤(りん酸エステル) 添加剤(触媒、整泡剤等) 水 イソシアネート指数： 密度：14(-2)～25(+2)kg/m ³ ②吹付け硬質ウレタンフォーム 組成(質量%)： ポリイソシアネート ポリエーテル系ポリオール 難燃剤(りん酸エステル) 添加剤(触媒、整泡剤等) 水 イソシアネート指数： 密度：10(-1)～25(+2)kg/m ³ 厚さ：55(-5)～150(+15)mm

Trade Secret

つづく

つづき

外装材	構成：(1)及び(2) (1)軽量セメントモルタル 組成(質量%)：①、②又は③ ①セメント 45.0～51.0 無機質混和材料 45.0～55.0 無機質軽量骨材 0.0～24.0 無機質骨材 0.0～27.7 無機質混和材 10.4～40.0 無機質少量添加剤 0.0～ 6.0 有機質混和材料 0.1～10.0 有機質骨材 0.0～ 7.6 有機質少量添加剤 0.1～ 4.5 有機質繊維 0.0～ 0.5 ②セメント 45.0～55.0 無機質混和材料 44.0～52.5 無機質軽量骨材 0.0～24.0 無機質骨材 25.0～45.0 無機質混和材 0.0～15.0 無機質少量添加剤 0.0～ 7.5 有機質混和材料 1.0～ 4.5 有機質骨材 0.5～ 4.5 有機質少量添加剤 0.1～ 0.5 有機質繊維 0.0～ 0.5 ③セメント 45.0～46.0 無機質混和材料 52.0～53.5 無機質軽量骨材 37.0～44.0 無機質骨材 0.0～15.0 無機質混和材 0.0～12.0 有機質混和材料 1.2～ 2.5 有機質骨材 1.0～ 2.5 有機質少量添加剤 0.1～ 0.5 有機質繊維 0.1～ 0.5 但し、 セメント： ポルトランドセメント(JIS R 5210)の種類の内、次のもの 普通ポルトランドセメント、早強ポルトランドセメント、中庸熱ポルトランドセメント、低熱ポルトランドセメント
-----	--

つづく

つづき

外装材	高炉セメントB種(JIS R 5211) フライアッシュセメントB種(JIS R 5213) エコセメント(JIS R 5214) 白色セメント 化学成分(質量%)※： 酸化マグネシウム 5.0以下 三酸化硫黄 3.0以下 強熱減量 3.0以下 全アルカリ 0.75以下 酸化物イオン 0.035以下 超速硬セメント 化学成分(質量%)※： 酸化マグネシウム 4.0以下 三酸化硫黄 13.0以下 強熱減量 3.0以下 アルミナセメント 化学成分(質量%)※： 酸化アルミニウム 50.0以上 三酸化鉄 2.5以下 酸化カルシウム 40.0以下 ※残りの化学成分はクリンカー及びせつこう 無機質軽量骨材：けい酸質岩石の粉碎物、焼成発泡物(パーライト、凝灰岩系松脂岩、シラス発泡粒) 無機質骨材 ：けい砂、石灰砂、ガラス粒、ガラス発泡粒、金属 無機質混和材 ：炭酸カルシウム、消石灰、高炉スラグ、フライアッシュ、粘土鉱物、ドロマイトプラスター、水酸化アルミニウム 無機質少量添加剤：膨張剤(無水石膏、エトリンガイト系、石灰系)、ガラス(粉末・繊維) 有機質骨材 ：エチレン酢酸ビニル発泡粒、エチレン酢酸ビニル・炭酸カルシウム発泡粒、ポリスチレン発泡粒、塩化ビニル発泡粒、ポリエチレン発泡粒、ポリウレタン発泡粒、ポリプロピレン発泡粒、ゴム粉碎品、バフ粉 有機質少量添加剤：増粘剤(セルロース系)、保水剤(エチレン酢酸ビニル粉末樹脂、アクリル系樹脂) 有機質繊維 ：ポリエチレン、アクリル、ビニロン、ポリプロピレン、ポリエステル、ナイロン、アラミド、セルロース、パルプ、麻、羊毛 塗厚さ：15mm以上 密度：1)又は2) 1)直張仕様：0.9(±0.1)g/cm³以上(気乾) 2)通気仕様：1.1(±0.1)g/cm³以上(気乾) (2)補強材(あり又はなし) 材料：耐アルカリ性グラスファイバーネット 厚さ：0.3mm以上 質量：130g/m²以上 メッシュ間隔：4×4～10×10mm
-----	---

つづく

つづき

下張材 (下地材)	材料：①～㉔の一 ①普通合板(日本農林規格に適合するもの、加工品を含む) 厚さ：2.3mm以上 ②構造用合板(日本農林規格に適合するもの、加工品を含む) 厚さ：5.5mm以上 ③構造用パネル(日本農林規格に適合するもの、加工品を含む) 厚さ：9mm以上 ④パーティクルボード(JIS A 5908) 厚さ：9mm以上 ⑤ミディアムデンシティファイバーボード(JIS A 5905) 厚さ：2.5mm以上 ⑥ハードファイバーボード(JIS A 5905) 厚さ：2.5mm以上 ⑦小幅板(日本農林規格に適合する製材、集成材又は単板積層材、加工品を含む) 厚さ：7.5mm以上 ⑧硬質木毛セメント板(JIS A 5404) 厚さ：15mm以上 ⑨硬質木片セメント板(JIS A 5404) 厚さ：12mm以上 ⑩パルプセメント板(JIS A 5414) 厚さ：6mm以上 ⑪フレキシブル板(JIS A 5430) 厚さ：3mm以上 ⑫けい酸カルシウム板(JIS A 5430) 厚さ：5mm以上 ⑬パルプけい酸カルシウム混入セメント板(国土交通大臣認定不燃材料：NM-0592) 厚さ：9mm以上 ⑭両面アクリル系樹脂塗装パルプ・けい酸質混入セメント板 (国土交通大臣認定準不燃材料：QM-0457) 厚さ：9mm以上 ⑮両面ポリ塩化ビニル被覆ガラス繊維ネット張セメントモルタル板 (国土交通大臣認定不燃材料：NM-0711) 厚さ：11.5mm以上 ⑯パルプ混入けい酸カルシウム板(国土交通大臣認定不燃材料：NM-2601) 厚さ：9mm以上 ⑰火山性ガラス質複層板(JIS A 5440) 厚さ：6mm以上 ⑱両面ボード用原紙張せっこう板 (国土交通大臣認定不燃材料：NM-4127) 厚さ：9.5mm以上 ⑲ボード用原紙張ガラス繊維混入せっこう板 (国土交通大臣認定準不燃材料：QM-0954-1) 厚さ：9.5mm ⑳ボード用原紙張／ガラス繊維混入せっこう板 (国土交通大臣認定難燃材料：RM-0059) 厚さ：9.5mm
構造用面材	仕様：なし

つづく

つづき

内装材	材料：①又は② ①せっこうボード(JIS A 6901) 厚さ：9.5mm以上 ②強化せっこうボード(JIS A 6901) 厚さ：12.5mm以上
-----	--

4. 仕様の副構成材料：

仕様の副構成材料を表3に示す。

表3 仕様の副構成材料

項 目	仕 様
胴縁	材料：①～④の一 ①日本農林規格に適合する製材、集成材、単板積層材、枠組壁工法用製材、枠組壁工法用たて継ぎ材(加工品を含む) ②平成12年建設省告示第1452号第五号に規定する無等級材又は第六号に規定する木材 ③日本農林規格に適合する合板又は構造用パネル(加工品を含む) ④ミディアムデンシティファイバーボード(JIS A 5905) 寸法：9×27mm以上 取付間隔：500mm以下
補助胴縁	仕様：あり又はなし 材料：①～⑤の一 ①日本農林規格に適合する製材、集成材、単板積層材、枠組壁工法用製材、枠組壁工法用たて継ぎ材(加工品を含む) ②平成12年建設省告示第1452号第五号に規定する無等級材又は第六号に規定する木材 ③日本農林規格に適合する合板又は構造用パネル(加工品を含む) ④ミディアムデンシティファイバーボード(JIS A 5905) ⑤合成樹脂 材質：1)～6)の一 1)塩化ビニル樹脂 2)アクリロニトリルブタジエンスチレン樹脂(ABS樹脂) 3)発泡ポリスチレン樹脂 4)ポリスチレン樹脂 5)エチレンプロピレンゴム(EPDM) 6)ポリエチレン樹脂 寸法：10×9mm以上(但し、⑤においては外形寸法とし、肉厚1mm以上とする) 取付間隔：500mm以下
鉄網	材料：①～⑦の一 ①メタルラス防錆処理品(JIS A 5505) 単位面積質量：500g/m ² 以上 ②鉄網防錆処理品 網材質：1)～3)の一、又は組合せ 1)鉄線(JIS G 3532) 2)亜鉛めっき鉄網(JIS G 3547) 3)溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302) 単位面積質量：500g/m ² 以上 網目寸法：20×35(±2)mm以下

つづく

つづき

鉄網	③ステンレスラス 網材質：1)、2)又は3)、又は組合せ 1) ステンレス鋼線 (JIS G 4309) 2) 熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯 (JIS G 4304) 3) 冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯 (JIS G 4305) 単位面積質量：500g/m²以上 網目寸法：39×51(±2)mm以下 ④焼付塗装型鉄網 鋼材質：1)、2)又は3)、又は組合せ 1) 鉄線 (JIS G 3532) 2) 亜鉛めっき鉄線 (JIS G 3547) 3) メタルラス防錆処理品 (JIS A 5505) 単位面積質量：500g/m²以上 網目寸法：20×35(±2)mm以下 プライマー 材料：エポキシ樹脂系 塗布量：60g/m²以下 塗料 材料：アクリル樹脂系 塗布量：20g/m²以下 ⑤塗膜鉄網 鋼材質：④焼付塗装型鉄網と同じ 単位面積質量：500g/m²以上 網目寸法：20×35(±2)mm以下 塗膜材 材質：1)～5)の一 1) ウレタンゴム系 2) アクリルゴム系 3) ゴムアスファルト系 4) クロロプレンゴム系 5) FRP系 塗膜量：400g/m²以下 (有機量：260g/m²以下) ⑥防水紙付鉄網 (防錆処理品) 鋼材質：④焼付塗装型鉄網と同じ 単位面積質量：700g/m²以上 網目寸法：39×51(±2)mm以下 防水紙 材質：1)～9)の一 1) クラフト紙 (JIS P 3401) 2) ターポリン紙 (2枚のクラフト紙の間にアスファルトを充てんした防水紙) 3) ポリミック紙 (2枚のクラフト紙の間にポリエチレン樹脂又はポリプロピレン樹脂を充てんした防水紙) 1)、2)又は3)の単位面積質量：150g/m²以下 4) ポリエチレンシート 種類：a)、b)又はc) a) 住宅用プラスチック系防湿フィルム (JIS A 6930) b) 包装用ポリエチレンフィルム (JIS Z 1702) c) 農業用ポリエチレンフィルム (JIS K 6781) 5) オレフィンシート
----	--

つづく

つづき

鉄網	6) オレフィンシート+高分子吸収体(吸水ポリマー、メチルセルロース) 7) 透湿防水シート(JIS A 6111) 材質: a)、b)又はc) a) ポリエチレン b) ポリエステル c) ポリプロピレン 8) ポリプロピレン不織布/ポリエチレンフィルム/ポリエステル不織布 4)~8)の単位面積質量: 400g/m²以下 9) アスファルトフェルト(JIS A 6005) 単位面積質量の呼び: 860以下(1枚張又は2枚張) ⑦防水紙付ステンレスラス 鋼材質: ③ステンレスラスと同じ 単位面積質量: 700g/m²以上 網目寸法: 39×51(±2)mm以下 防水紙 材質: ⑥防水紙付鉄網(防錆処理品)と同じ 結束材 材料: 1)、2)又は3) 1) なし 2) 結束金具 3) 結束線 2)又は3)の材質: a)、b)又はc)、又は組合せ a) 鉄線(JIS G 3532) b) 亜鉛めっき鉄線(JIS G 3547) c) ステンレス鋼線(JIS G 4309) 2)又は3)の寸法: 線の断面積0.2mm²以上 防水材及び塗膜防水材を合わせた総有機質量: 860g/m²以下
防水材	仕様: あり又はなし 材料: ①~⑪の一 ①アスファルトフェルト(JIS A 6005) 単位面積質量の呼び: 860以下(1枚張又は2枚張) ②プラスチックシート 材質: 1)~7)の一 1) 飽和ポリエステル 2) ポリプロピレン 3) ポリエステル 4) ポリ塩化ビニル 5) ABS樹脂 6) ポリエチレン 7) ポリスチレン ③オレフィンシート ④オレフィンシート+高分子吸収体(吸水ポリマー、メチルセルロース) ⑤透湿防水シート(JIS A 6111) 材質: 1)、2)又は3) 1) ポリエチレン 2) ポリエステル 3) ポリプロピレン

つづく

つづき

防水材	⑥ポリプロピレン不織布／ポリエチレンフィルム／ポリエステル不織布 ⑦ポリエステルフィルム／改質アスファルト／ポリエステル不織布 ⑧原紙(アスファルト含浸)／改質アスファルト／改質アスファルト含浸ポリエステル不織布／着色塗料 ⑨ビニロン+ポリプロピレン不織布 ②～⑨の単位面積質量：800g/m²以下(1枚張又は2枚張) ⑩ポリエチレンフォームシート 単位面積質量：444g/m²以下 ⑪防水通気シート 材質：1)～8)の一 1)飽和ポリエステル 2)ポリプロピレン 3)ポリエステル 4)ポリ塩化ビニル 5)ABS樹脂 6)ポリエチレン 7)ポリスチレン 8)ポリプロピレン・ポリエチレン共重合体 単位面積質量：860g/m²以下(1枚張又は2枚張) 通気層高さ：18mm以下 ②～⑪の目地材 材料：1)、2)又は3) 1)気密テープ 材質：a)～d)の一 a)アクリル系 b)EPDMゴム系 c)ブチルゴム系 d)アスファルト系 厚さ：1.0mm以下、幅：100mm以下 2)グラスファイバーテープ 厚さ：0.5mm以下、幅：100mm以下 3)なし 鉄網及び塗膜防水材を合わせた総有機質量：860g/m²以下
塗膜防水材	仕様：あり又はなし 材料：①～⑤の一 ①ウレタンゴム系 ②アクリルゴム系 ③ゴムアスファルト系 ④クロロプレンゴム系 ⑤FRP系 塗膜量：800g/m²以下 有機質量：520g/m²以下 鉄網及び防水材を合わせた総有機質量：860g/m²以下

つづく

つづき

防湿材	仕様：あり又はなし 材料：①～⑥の一 ①住宅用プラスチック系防湿フィルム(JIS A 6930) 材質：ポリエチレン ②包装用ポリエチレンフィルム(JIS Z 1702) ③農業用ポリエチレンフィルム(JIS K 6781) ④アルミニウム蒸着ポリエチレン ⑤ポリプロピレン ⑥アルミニウム蒸着ポリプロピレン 厚さ：0.2(+0.02)mm以下 単位面積質量：192g/m ² 以下
受材	内装材目地部： 材料：①～④の一 ①日本農林規格に適合する製材、集成材、単板積層材又は枠組壁工法用製材又はたて継ぎ材 ②日本農林規格に適合する合板又は構造用パネル ③平成13年国土交通省告示第1540号に適合する壁の枠材 ④なし(横目地がない場合) 寸法：30×40mm以上 桁・土台部(真壁の場合)： 材料：日本農林規格に適合する製材、集成材又は単板積層材 寸法：30×40mm以上 柱部(真壁で柱欠き込みなしの場合)： 材料：日本農林規格に適合する製材、集成材又は単板積層材 寸法：30×40mm以上
留付材	下地材固定用： 材料：①～⑦の一 ①鉄丸くぎ(JIS A 5508) 寸法：N38以上 ②太め鉄丸くぎ(JIS A 5508) 寸法：CN50以上 ③シーリングボード用くぎ(JIS A 5508) 寸法：SN40以上 ④十字穴付き木ねじ(JIS B 1112) 寸法：φ3.8×長さ32mm以上 ⑤ドリリングタッピンねじ(JIS B 1125) 寸法：φ4.2×長さ30mm以上 ⑥タッピンねじ ⑦木ねじ ⑥及び⑦の材質：1)～4)の一 1)冷間圧造用炭素鋼(JIS G 3507-2) 2)機械構造用炭素鋼鋼材(JIS G 4051) 3)冷間圧造用ステンレス鋼線(JIS G 4315) 4)軟鋼線材(JIS G 3505) ⑥及び⑦の寸法：φ2.5×長さ25mm以上 留付間隔：周辺部333mm以下、中間部333mm以下

つづく

つづき

留付材	内装材固定用： 材料：①～⑤の一 ①せっこうボード用くぎ(JIS A 5508) 寸法：GN40以上 ②十字穴付き木ねじ(JIS B 1112) 寸法：φ3.1×長さ32mm以上 ③ドリリングタッピンねじ(JIS B 1125) 寸法：φ3×長さ32mm以上 ④タッピンねじ ⑤木ねじ ④及び⑤の材質：1)～4)の一 1)冷間圧造用炭素鋼(JIS G 3507-2) 2)機械構造用炭素鋼鋼材(JIS G 4051) 3)冷間圧造用ステンレス鋼線(JIS G 4315) 4)軟鋼線材(JIS G 3505) ④及び⑤の寸法：φ2.5×長さ32mm以上 留付間隔：周辺部150mm以下、中間部200mm以下
	胴縁固定用： 材料：①～④の一 ①鉄丸くぎ(JIS A 5508) 寸法：N38以上 ②太め鉄丸くぎ(JIS A 5508) 寸法：CN50以上 ③タッピンねじ ④木ねじ ③及び④の材質：1)～4)の一 1)冷間圧造用炭素鋼(JIS G 3507-2) 2)機械構造用炭素鋼鋼材(JIS G 4051) 3)冷間圧造用ステンレス鋼線(JIS G 4315) 4)軟鋼線材(JIS G 3505) ③及び④の寸法：φ2.5×長さ25mm以上 留付間隔：500mm以下

つづく

つづき

留付材	補助胴縁固定用(補助胴縁を用いる場合)： 材料：①～④のー ①鉄丸くぎ(JIS A 5508) 寸法：N19以上 ②タッピンねじ ③木ねじ ②及び③の材質：1)～4)のー 1)冷間圧造用炭素鋼(JIS G 3507-2) 2)機械構造用炭素鋼鋼材(JIS G 4051) 3)冷間圧造用ステンレス鋼線(JIS G 4315) 4)軟鋼線材(JIS G 3505) ②及び③の寸法：φ2.4×長さ20mm以上 ①、②又は③の留付間隔：2000mm以下 ④両面粘着テープ 材質：1)又は2) 1)合成ゴム系樹脂 2)アクリル系樹脂 幅：20mm以下 厚さ：1.0mm以下
	鉄網固定用： 材料：ステーブル 材質：1)又は2) 1)ステンレス鋼線(JIS G 4309) 2)鉄線(JIS G 3532) 寸法：①又は② ①内幅7mm以上、足長16mm以上 ②内幅6mm以上、足長19mm以上 留付間隔：鉛直方向150mm以下、水平方向500mm以下
	防水材・防湿材固定用(防水材・防湿材を用いる場合)： 材料：ステーブル 材質：1)又は2) 1)鉄線(JIS G 3532) 2)ステンレス鋼線(JIS G 4309) 寸法：内幅10mm以上、足長6mm以上 留付間隔：500mm以下

つづく

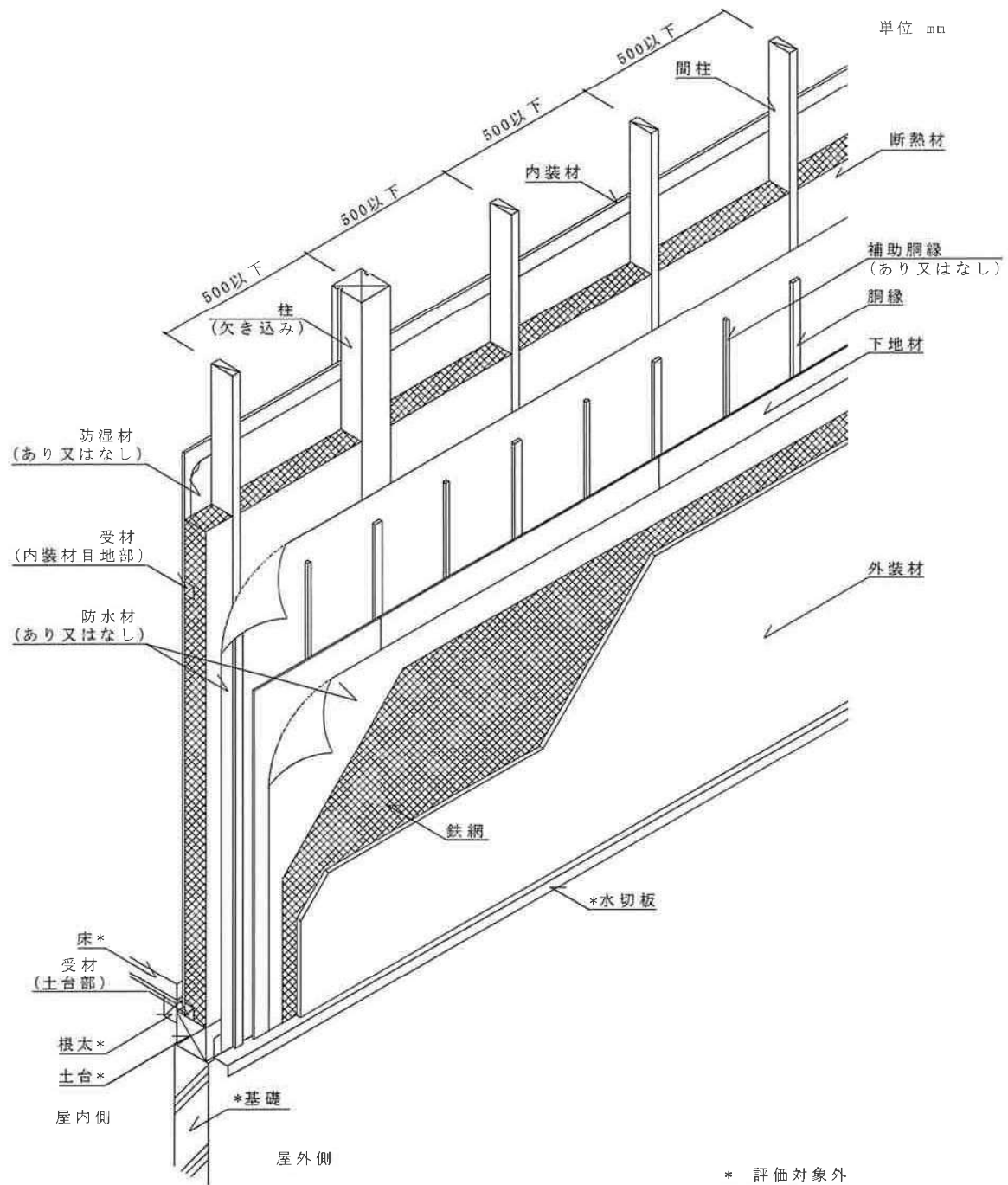
つづき

留付材	受材固定用： 材料：①～④の一 ①鉄丸くぎ(JIS A 5508) 寸法：N50以上 ②太め鉄丸くぎ(JIS A 5508) 寸法：CN50以上 ③タッピンねじ ④木ねじ ③及び④の材質：1)～4)の一 1)冷間圧造用炭素鋼(JIS G 3507-2) 2)機械構造用炭素鋼鋼材(JIS G 4051) 3)冷間圧造用ステンレス鋼線(JIS G 4315) 4)軟鋼線材(JIS G 3505) ③及び④寸法：φ3×長さ42mm以上 留付本数・間隔： 内装材・構造用面材目地部；2本以上/1箇所(柱又は間柱に留付け) 桁・土台部及び柱部；400mm以下
内装材用目地処理材	仕様：あり又はなし 材料：①、又は①及び② ①せっこうボード用目地処理材(JIS A 6914) 使用量：100g/m以上 ②ジョイントテープ 材質：1)又は2) 1)ガラス繊維 2)紙 厚さ：0.5mm以上 幅：20mm以上

5. 仕様の構造説明図：

仕様の構造説明図を図1～図6に示す。

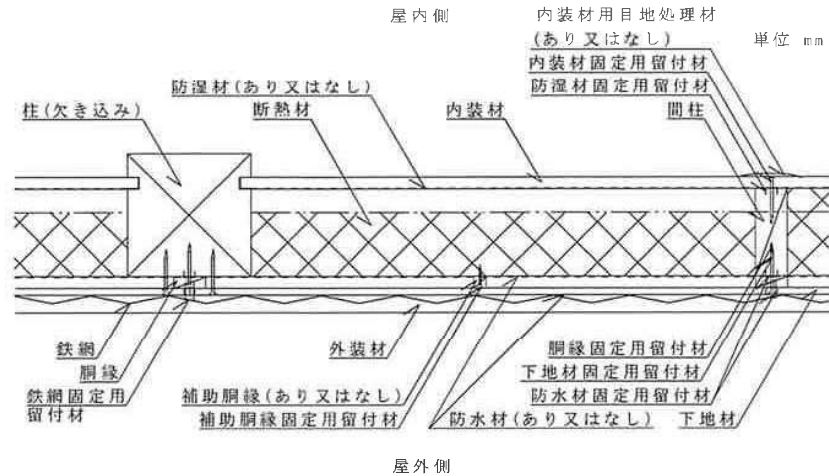
図中の単位については、特記のない限りmmとする。



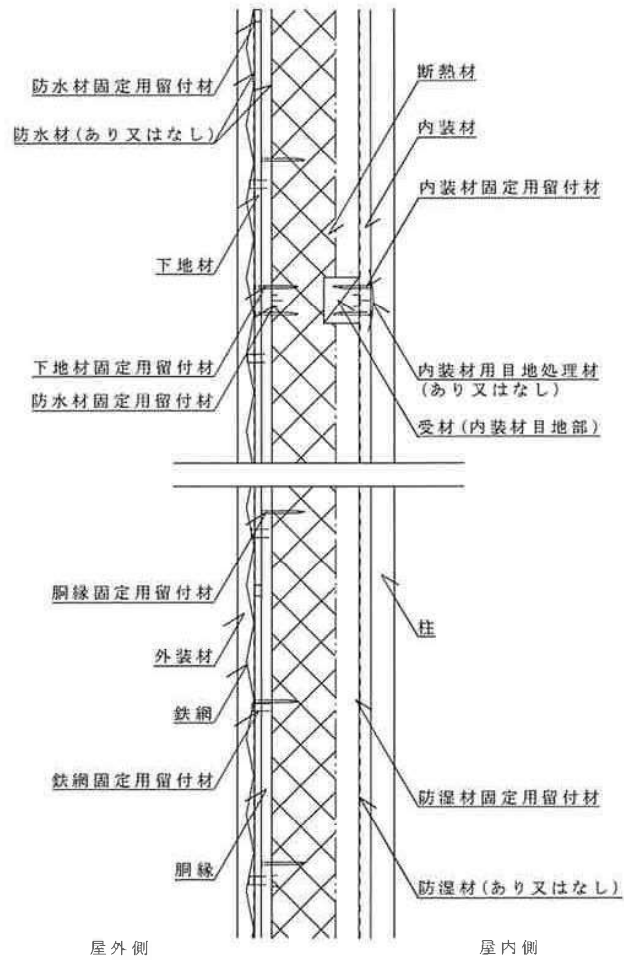
透視図

真壁造(柱欠き込み)/通気仕様
構造用面材なし・下地材あり

図1 構造説明図



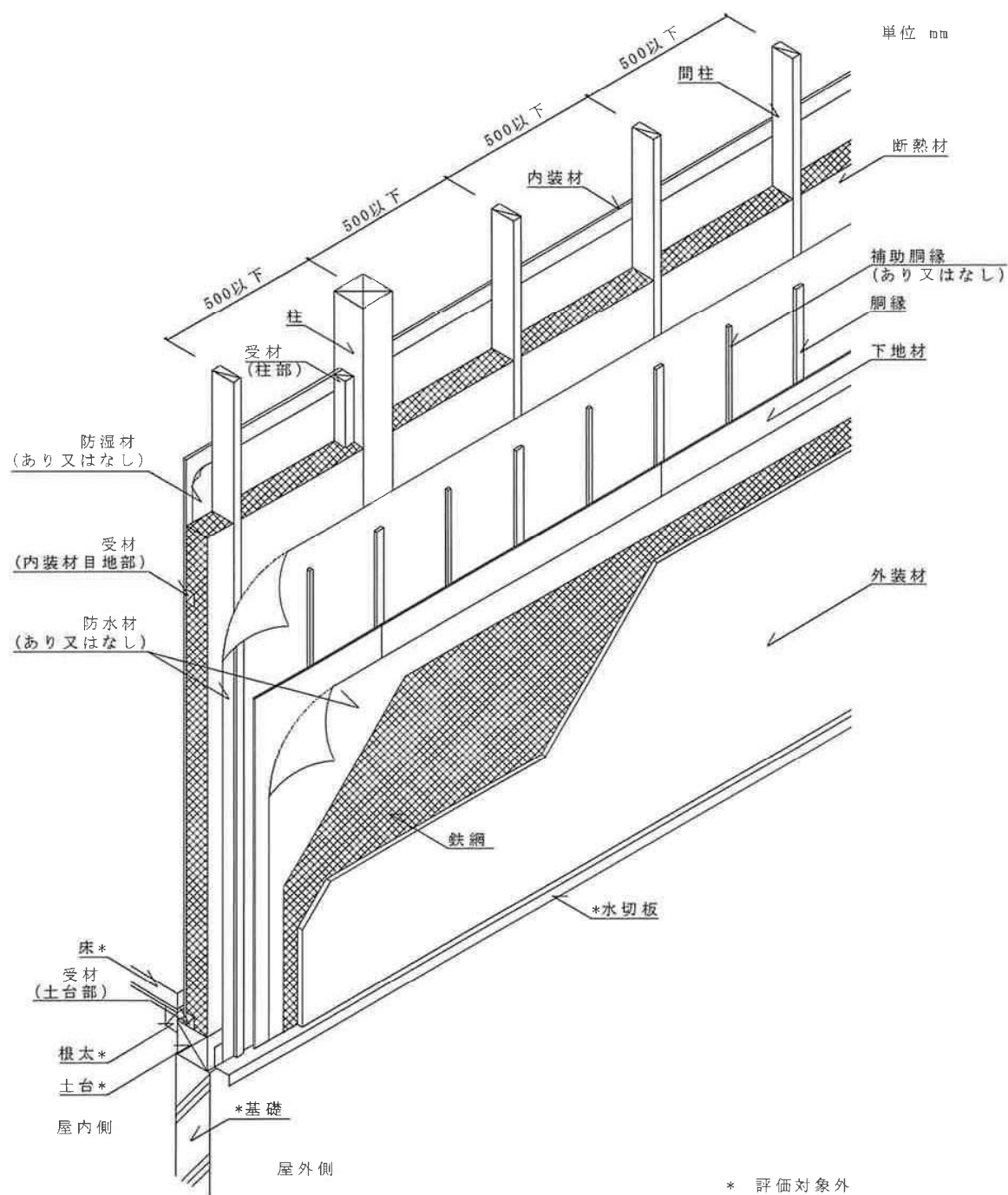
水平断面詳細図



鉛直断面詳細図

真壁造(柱欠き込み)/通気仕様
構造用面材なし・下地材あり

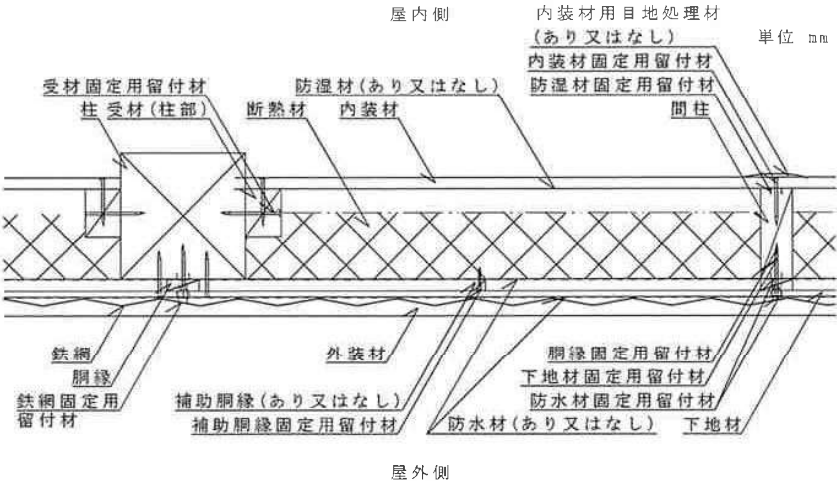
図2 構造説明図



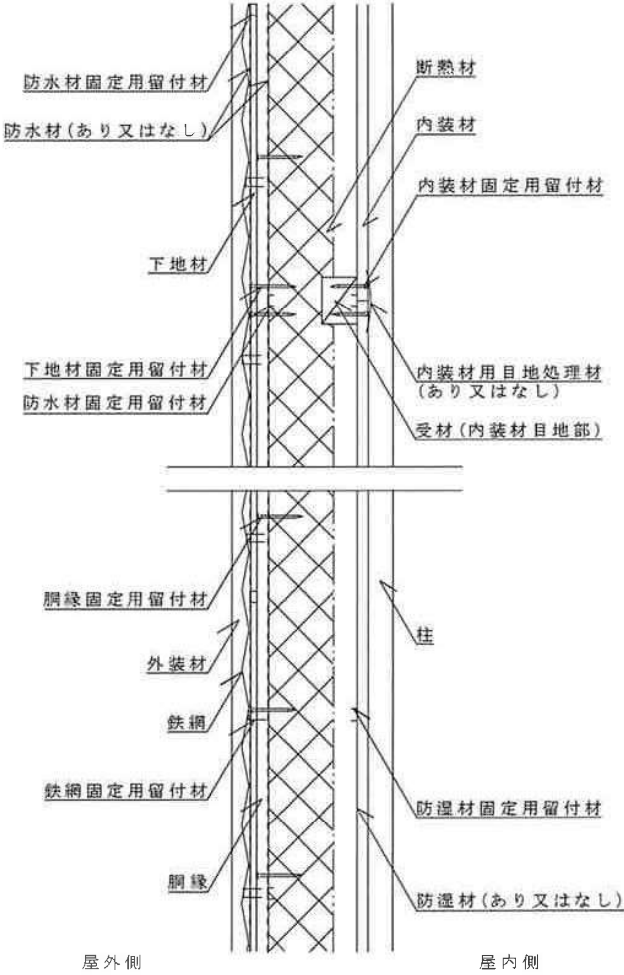
透視図

真壁造(柱部受材)/通気仕様
構造用面材なし・下地材あり

図3 構造説明図



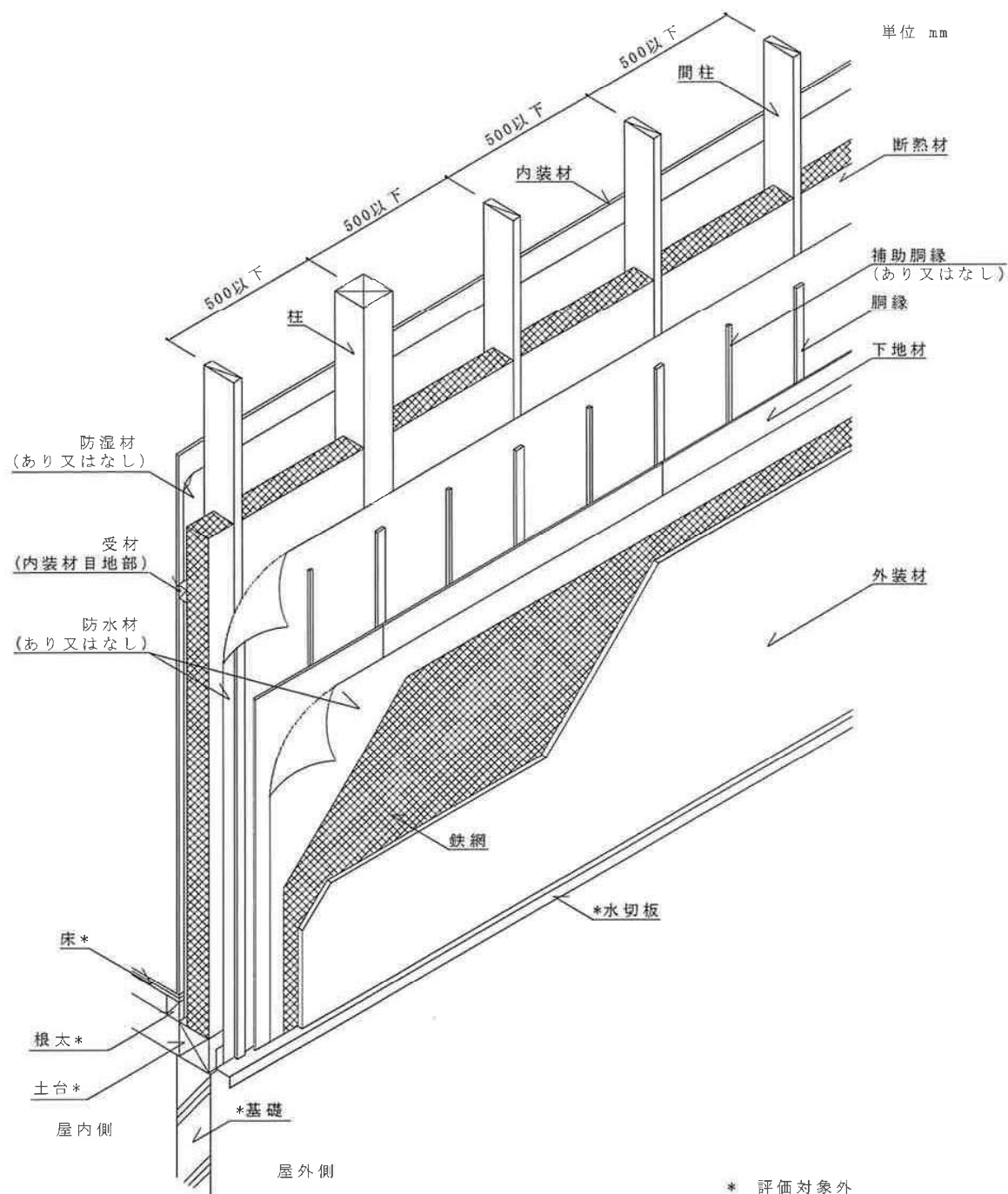
水平断面詳細図



鉛直断面詳細図

真壁造 (柱部受材) / 通気仕様
構造用面材なし・下地材あり

図4 構造説明図

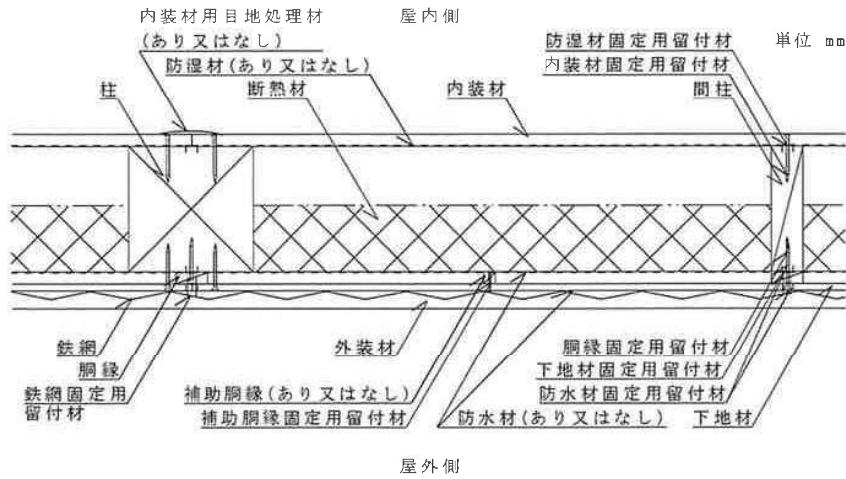


透視図

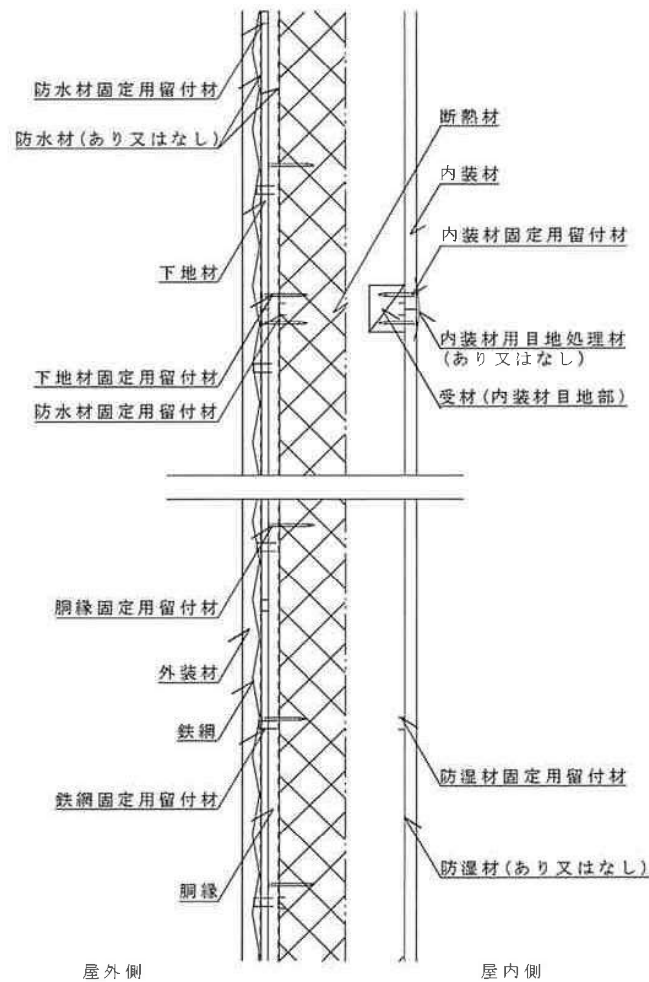
大壁造/通気仕様

構造用面材なし・下地材あり

図5 構造説明図



水平断面詳細図



鉛直断面詳細図

大壁造/通気仕様
構造用面材なし・下地材あり

図6 構造説明図

6. 施工方法：

施工図を図7及び図8に示す。図中の単位については、特記のない限りmmとする。

施工は、以下の手順で行う。

(1) 防水材の張り付け(防水材を用いる場合)

防水材は、横張り又は縦張りとし、重ね代は縦90mm以上、横150mm以上とする。柱及び間柱等への張り付けは、防水材固定用留付材で張り付ける。左右の重ね位置は、上下で連続させない。防水材はできるだけたるみ、しわのないように取り付ける。

(2) 胴縁及び補助胴縁の取り付け

胴縁は、柱及び間柱に胴縁固定用留付材で取り付ける。又、必要に応じて補助胴縁を胴縁の間に取り付ける。胴縁寸法で不陸のないように調整する。

(3) 下地材の取り付け

下地材は、下地材固定用留付材を用いて胴縁及び補助胴縁(用いる場合)に取り付ける。

(4) 外装材の施工

- ・軽量セメントモルタルと標準加水量をモルタルミキサーで混練りした後、コテ圧を充分にかけて下塗りする。
- ・上塗りモルタルはコテ圧を充分にかけ下塗りと合わせて規定塗り厚さ以上になるように塗付け、下塗りモルタルと良く密着させる。又、上塗りを行う際には下塗りモルタルの乾燥状態によって、水湿し又は吸水調整材(エマルジョン)の塗布を行う。上塗りモルタルの水引き具合を見てムラ直しを行う。
- ・耐アルカリ性グラスファイバーネットを伏せ込む場合は下塗りまたは上塗りの過程で伏せ込み、軽量セメントモルタルと馴染ませる。
- ・モルタル上塗り後の養生期間は、包装材に表示してある養生期間または、メーカーが指定する期間とする。
- ・施工方法および施工管理については、日本建築仕上材工業による施工マニュアルを参考とする。

(5) 断熱材の取り付け

断熱材は、柱及び間柱間へ吹付ける。吹付ける際は、厚さのむらが生じないように吹付ける。

吹付け後、必要に応じて整形を行う。

なお、施工については、ウレタンフォーム工業会の品質自主管理基準により管理する。

(6) 防湿材の張り付け(防湿材を用いる場合)

防湿材は、横張り又は縦張りとし、上下又は左右の重ね代を30mm以上とする。

柱及び間柱への留付けは、所定の留付材で張り付ける。上下又は左右の重ね位置は連続させない。防湿材はできるだけたるみ、しわのないように取り付ける。

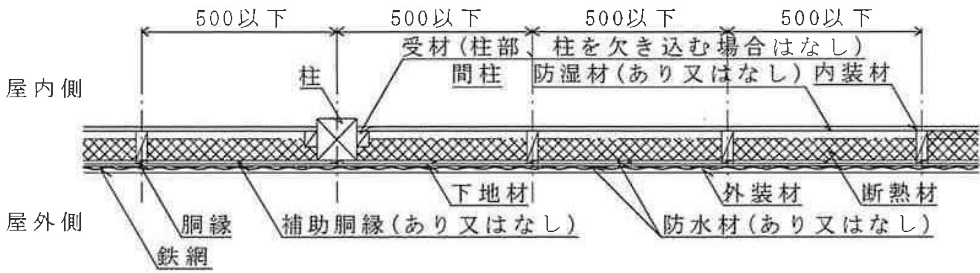
(7) 内装材の取り付け

内装材は、内装材固定用留付材で柱、間柱及び受材に留付ける。

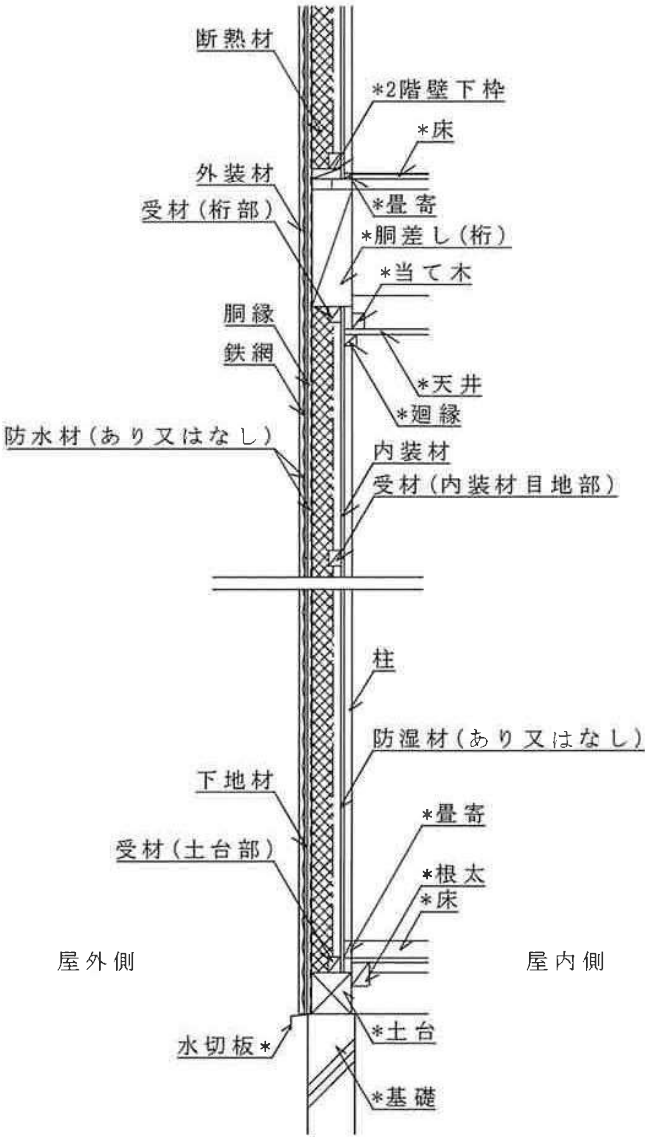
真壁造の場合、内装材を固定するため、桁(はり・胴差)及び土台等には受材を取り付け、柱には欠き込みを施すか受材を取り付ける。内装材目地部の受材は、たて方向を一枚で張る場合は不要とする。

内装材の目地部には必要に応じて所定の内装材用目地処理材を施す。

単位 mm



水平断面図

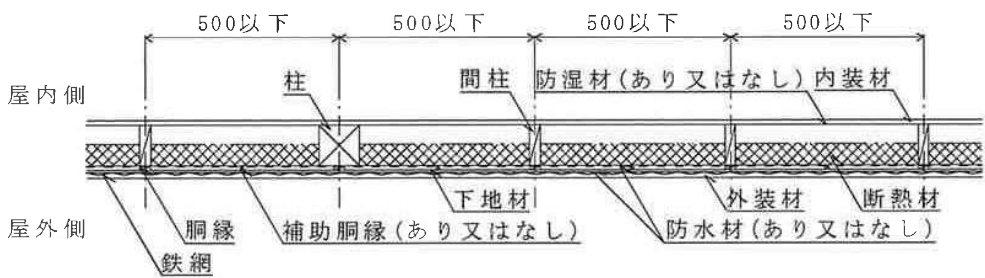


*評価対象外

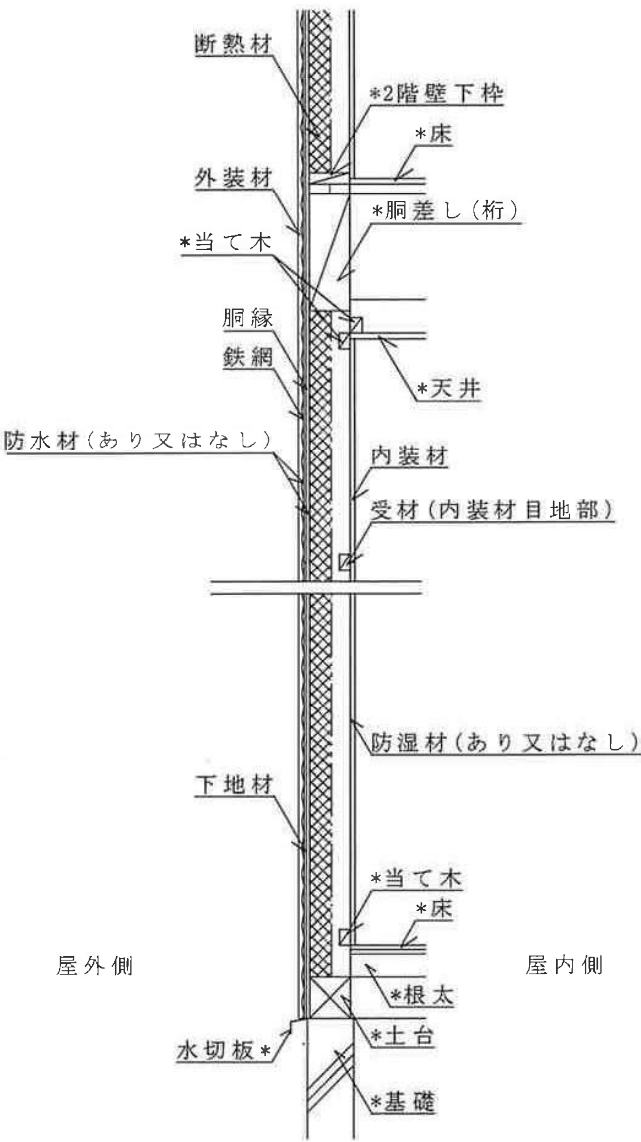
鉛直断面図

真壁造(柱部受材の例)/通気仕様
構造用面材なし・下地材あり
図7 施工図

単位 mm



水平断面図



鉛直断面図

大壁造/通気仕様

構造用面材なし・下地材あり

図8 施工図